

号付近から上流部の未改修区間約0・8kmの調査検討を実施する計画となっております。

**問** 現在の町の自主防災組織の現状と、今後の予定は。

**答** 中山町の自主防災組織の整備状況は、今年度新たに1地区が組織され、現在14地区となり、組織率は70・8%となっております。

また、新たに設立へ動き出した地区もございますので、町としては早期設立となるよう積極的に支援していくとともに、他の未設置地区についても、設立に向けて指導助言を行い、組織化を進めてまいります。

**③観光・スポーツ振興策について**

**問** 「スポーツとフルーツ 伸びゆく町なかやま」は、町のキャッチフレーズであるが、これにかける佐藤町長の思いは。

**答** 西部山間地に広がる果樹園、反収日本一を誇る田園、県内トップクラスのスポーツ環境、そして恵まれた住環境。これら、すばらしい財産を活かしていくまちづくりを考え、キャッチフレーズは、まちづくりの根幹となる道標と考えてお

ります。  
**問** 楽天イーグルスの本拠地が山形県から無くなるということ、その支援や町民運動のあり方について伺いたい。

**答** 楽天球団からは、日本プロ野球機構から本拠地が2県にあるのは認められないとの理由から、山形県より本拠地を撤退しなければならなかったと聞いております。しかし、楽天球団では山形県での試合をこれまでどおり行い、地域貢献活動もこれまで以上に促進させたいと考えています。

これを受け、山形県、天童市、当町と楽天球団において「スポーツ交流活動等に関するパートナー協定書」を締結する予定であります。内容としては、これまでと変わらない連携を行っていく内容となっております。当町としても楽天イーグルスへこれまでと同様、支援を行ってまいります。

町民運動については、支援本部の住民参加、スポーツ文化振興、地域振興の3部会の活動を中心に多くの人々が観たり、支えたりできるように進めてまいります。

ら実施する方向で進めているのか。

**答** 住民ニーズに応じたサービス提供体制の確保を図るなどして、介護保険条例に定めるとおり、平成29年4月1日から実施できるように準備してまいります。

**問** 総合事業の平成29年度からの実施を延期してはどうか。

**答** 介護保険法で定められているものであり、当町だけではできないものと理解しております。

**問** 自治体として町民の安全・安心を守るために県や国に対し住民の声を上げていくことも大事ではないか。

**答** 改善を要望することがあります。また適時適切に実施してまいります。

なお、地域で実施する介護予防の取組については、総合事業において訪問介護及び通所介護で住民主体であるB型のサービスが想定されているのに加えて、一般介護予防事業においても地区公民館における介護予防運動教室や高齢者サロンの開設などを期待しておりますので、町としてどのような支援が効果的なのかを検討していきたいと

**問** 新しい中学校がまもなく完成し、その後グラウンド等の整備をするとのことだが、グラウンドを天然芝のサッカー場として整備する考えはないか。

**答** グラウンド構造は天然芝や人工芝では建設コストが高く、維持経費が嵩むことや、天然芝では生育管理の手入れも難しいことから、表面仕上げはクレーコートで整備したいと考えております。

**問** 全国的な取組として最近「スポーツチャレンジデー」という取組があるが、その概要と町としてそれに対する考えは。

**答** 「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に、世界中で行われる住民参加型のスポーツ交流イベントで、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分間以上継続して運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合うものです。今年のチャレンジデー2015では、全国130の自治体が参加し、277万人を超える方が参加したようです。

町としては、町民参加型のスポーツ交流のできるイベント開催に向けて準備を進める予定で

思います。

**問** 今回の改定では、介護事業者に支払われる介護報酬が切下げられ、全国的に小規模事業所介護施設などが撤退や廃業しているようだが、町の事業所への影響はないのか。

**答** 今回の報酬改定では、特に小規模通所介護事業所に対する報酬が最も引下げられましたので、それらの事業者などに影響が考えられますが、具体的には把握しておりません。

**②中学生による模擬議会を再開してはどうか**

**問** 公職選挙法改正により選挙権が18歳以上に引下げられ、来年の参議院選挙から高校生も対象になることから、それに対する高校生の期待は高いようである。以前、中山中学校では「ひまわり議会」があり、中学生目線のいい質問がされていたが、残念ながら長く続かなかつた。町に関心をもち、発言してもらうことは町の活性化につながるはずである。

今回の18歳からの選挙を機会に、中学生による模擬議会を再開してはどうか。

あり、その発展としてのチャレンジデーなども視野に進めるよう考えております。

**④役場改革について**

**問** 役場に入ると暗いという話を町民から聞くことがある。施設の明るさもあると思うが、それ以上に職員一人ひとりの資質の向上が重要であると考えている。

職員の資質の向上をどのように考えているのか。

**答** 地方公務員法の改正により、人事評価制度が法律上の制度として導入されました。人事評価制度は、職員が職務遂行に当たり発揮した能力及び業績を公正に把握し、能力・実績に基づく人事管理を行うことで、公務能力の向上につなげ、最終的には住民サービス向上の土台をつくることを目的としているものです。

当町でも、平成28年4月からの実施に向け現在準備を進めており、制度導入により、高い能力を持った職員育成につながるものと期待しております。

また、資質向上には、職員研修が欠かせませんので、職場研

**答** 去る10月20日、中山中学校の3年生が、総合的な学習の取組の一環として、町長を中学校へ

招き「すべての人が住みやすい中山町づくりプランの提案」を行いました。これは、自分たちの課題解決を図るために、生徒自ら主体的に考え・判断し、行動を起こしたものです。この活動を通し、生徒たちは、中山町の新たな良さに気付くとともに、中山町をもっとよりよい町にしたいという願いを強くしました。

このように、児童生徒自らが地域のことを考え、主体的に行動を起こすことが重要であり、そうすることで自分たちの中山町を何とかしたいという社会形成への参画意識を高め、ひいては中山町に誇りをもち郷土を愛する心を育てることにつながります。ほかから与えられた環境の中では、これらの資質や能力はあまり期待できないと考えます。

町が主催する中学生による模擬議会の開催については、平成26年12月の議会で、町としては開催する考えがない旨のお答えをいたしております。

修や職場外研修を効果的に組み合わせるよう考えております。

**問** 出先機関や他市町村・県や民間などへの出向、あるいは交流をどのように考えているのか。

**答** 出向、交流は1年間単位になりますので、通常事務対応との兼ね合いから、近年実施していません。ただ、派遣研修ということで、東北自治研修所や市町村アカデミー等での研修を行っています。

西塔いん子議員



**①介護保険総合事業導入に向けた取組について**

**問** 介護保険法を改正し、介護予防給付から要支援1、2向けの通所介護、訪問介護を町主体の地域支援事業に移行する総合事業は実施できない自治体が多く、当町も2年間準備期間を設け、平成29年度から実施を予定している。

町は総合事業を平成28年度まで準備期間とし、平成29年度か